

高橋敬視 たかはし 哲學者。明治二十四年二月十七日高根縣生れ、昭和二十三年十月十日歿（一九九一—一九四八）。大正十一年京都市國大學卒。第一高等學校、松江高等學校各教授を務めた。

主編「ニコライ・ハルトマンを繙譯」『倫理學綱要』（昭和四年十一月十日大同館書店）、『存在論の基礎附け』（昭和十七年九月二十日京都・山口書店）、『可能性と現實性』（昭和十八年四月十日京都・山口書店）、『歴史哲學基礎論—精神的存在の問題』（緒譯、昭和十八年五月二十日理想社）、『實在的世界の構造』（昭和二十年十一月十五日京都印刷書館）等がある。

